



構造上壊せない柱があったため、柱と一体のアイランド型カウンターをデザインし、壁側にL字型カウンターを配して回遊できるプランとした。アイランドの方は1075mmと奥行きをもたせ、ハイスツールを合わせてファミリーダイニングとして活用。「M邸」インテリアデザイン/utide+RF design office(no.59に掲載)

# PARTNERS

依頼先を検討する



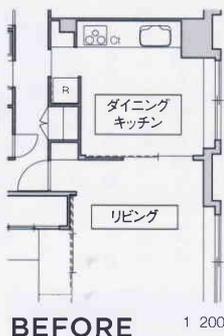
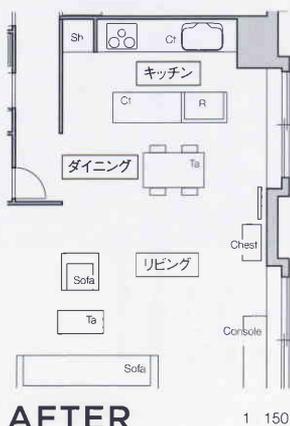
# EPISODE 4

## 既存キャビネットを活用した 対面式カウンター

Asada Residence (no.53に掲載) Tokyo

Interior Design : utide

上ノキッチンとダイニング(CH約2100mm)の間に対面式カウンターを設け、キッチン側には冷蔵庫やゴミ箱、炊飯器やホームベーカリーなどの機器を収納。壁付けカウンター(W2785mm×D650mm×H834mm)は天板をステンレス、面材は薄いグレーのポリ合板を使用し、食洗機やIHヒーターなどの機器は交換 下ノ既存のキャビネットを利用して新設した対面式カウンターが緩やかにキッチンとダイニングの場を分かつ



築11年の4LDKのマンションを購入し、コレクションする家具や小物が調和するよう、インテリアデザイナーのutideの齊藤美紀さんにデザインを依頼。齊藤さんはコストとデザインを両立するため、既存を生かしてイメージを実現する方法を提案した。オーナーは対面式キッチンを要望したが、移設するとコストがかさむため、設備は移設せずに面材や天板を変え、既存のキャビネットを利用した対面式カウンター(W1350mm×D1000mm×H810mm)を造作する方法で解決。このカウンターがキッチンとダイニングを緩やかに区切ると同時に、回遊動線が生まれた。さらに対面式カウンターのキッチン側に冷蔵庫を収納することでダイニングから見えず、機能的とデザイン性を兼ね備えた空間に仕上げた。

